

令和2年度
中国環境パートナーシップオフィス
中国地方ESD活動支援センター
業務運営計画（概要版）

運営団体：特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

1 業務スキーム及び戦略

仕様書に基づく業務の内容を方針に合わせて構造化すると共に、令和2~4年度の成果を積み上げていくための重点性を設けて、業務を戦略的に推進する。



2 EPO ちゅうごく業務

① 持続可能な社会の実現に向けた地域協働モデルの創出及び支援

i) 環境で地方を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業

中国地方の支援事務局として、中国四国地方環境事務所と連携し、採択団体（「一般財団法人うんなんコミュニティ財団（島根県雲南市）」及び「美星町観光協会（岡山県井原市）」）に必要な支援を実施することを通して、全国的にモデルとなる地域循環共生圏づくりプラットフォームを構築する。なお、環境本省をはじめとする関係機関とともに全国の進捗共有や事業スキームの改善を図りながら事業を推進する。また、平成 31 度の採択団体（「AMA ホールディングス株式会社（島根県隠岐郡）」及び「真庭市（岡山県真庭市）」）に対して、事業の状況等を把握しフォローアップする。

ii) 地域における地域循環共生圏づくりの担い手の把握とネットワーク形成支援

地域循環共生圏の萌芽となる取組及びその支援の担い手となる中間支援組織等に対するヒアリングを通して、取組内容や支援ニーズ等を把握します。また、情報・意見交換会や研修会等を実施し、主体間の連携やネットワーク形成、支援の担い手の育成を図る。

（広島県において開催予定）

iii) 森里川海推進ネットワークの形成

環境省が山口県周防大島町に設置する公共施設等において、森里川海の実用活用に関係する現地の主体へのヒアリングや意見交換会の実施を通して、ワイズユースに向けた可能性や課題等を抽出し整理するとともに、今後に向けた取組展開への機運を高める。

（山口県において開催予定）

iv) 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

中国財務局及び中国四国地方環境事務所が企画する情報交換会等の開催支援を通して、地域金融機関や企業等との関係を構築するとともに、地域循環共生圏等の基本的な考え方や地域資源の活用に向けた方向性等を共有する。（中国地域内において開催予定）

② 中間支援機能との連携強化

i) 地域循環共生圏づくり支援ネットワークの強化

中国各県の中間支援組織や全国 EPO ネットワーク等と連携して、過年度に構築した地域循環共生圏づくり支援ネットワークを広げるとともに、交流・意見交換会を開催することを通して、地域循環共生圏に対する理解や学びを創出し、地域循環共生圏づくり支援のためのネットワークや中間支援機能を強化する。（広島県において開催予定）

ii) 中間支援組織が行うイベント・セミナー等の開催協力・広報

各地における活動の発展や団体の成長、広域的な人材・情報交流を促すため、中国地域内外の中間支援組織等が行うイベント等の開催協力や広報、参加を通して、中間支援機能を強化する。

③ 相談対応及び情報センター業務

i) 相談対応

環境教育等促進法第 19 条に基づく拠点として、環境保全活動や環境教育、協働取組等に係る相談及び照会に対応し、民間団体・地方公共団体双方の取組を支援することを通して、自主的・自発的な取組や協働を促進するとともに、対応案件から得られた情報・知見を蓄積する。

ii) 情報センター業務

環境パートナーシップ拠点の基盤として必要なイベント・セミナー等相互参照の機会や補助金・助成金など環境保全活動・環境教育の推進に資する情報を蓄積するとともに、ホームページ、メールマガジン、SNS などを通じて、戦略的かつ計画的な発信を通して、中国地域の環境保全活動や協働取組、EPO ちゅうごく業務への理解を促進する。また、効果的な情報発信強化のための企画を立案する。

3 中国地方 ESD センター業務

① ESD 活動を支援する情報共有

i) ESD 活動に関する相談・支援窓口の設置

ESD 推進ネットワークのハブとして、過年度の事業から得られた情報の蓄積や成果・ノウハウ等を活用しながら ESD 取組等に係る相談及び照会に対応し、民間団体・地方公共団体双方の取組を支援することを通して、自主的・自発的な ESD 活動や協働を促進するとともに、対応案件から得られた情報・知見を蓄積する。

ii) 地域における ESD 活動に関する情報等の収集及び一元的な発信等

中国地方の ESD 推進ネットワークのハブとして、全国ネットワークを活用し、ESD 活動を推進するために必要な情報・知見・ノウハウを収集する。また、国や地域における活動・政策の動向をふまえ、それらを社会に幅広く効果的な情報を発信することを通して、ESD の普及・啓発や活動の発展、広域的な情報交流、中国地方 ESD センター業務への理解促進を図る。

② 現場のニーズを反映した ESD 活動の支援

ESD に関連する様々なイベントや会議等への出席を通して、関係機関や地域 ESD 活動推進拠点、ESD 実践団体等と情報交流を行い、ESD 推進のための各主体・地域の支援ニーズの把握やネットワーク構築、中国地方 ESD センター業務への理解促進を図るとともに、それらを踏まえて、EPO ちゅうごく・中国地方 ESD センター運営委員会において ESD 活動の支援機能について検討し、その結果を ESD 推進ネットワークで共有・活用することで幅広く効果的な支援を展開する。

③ ESD 活動のネットワークの形成、ESD 実践の学びあいの場の促進

i) 全国 ESD センター及び他の地域の地方 ESD センターとの連携

全国の関係機関や有識者等が集う会議への出席を通して、ESD 国内実施計画やポスト GAP (ESD for 2030)をふまえた ESD 推進ネットワークの新たな方向性や、事業スキームの構築を図り、全国各地の情報共有や連携を促進する。

ii) ESD 活動に関するネットワークの構築

ESD 推進ネットワークを構築するため、中国地方の ESD 推進拠点や全国の ESD 実践者と積極的に交流し、中国地方においても地域資源を活用した学びあいの機会づくり (ESD 学び合いフォーラム) を通して、ユース・指導者・マスコミ等による SDGs マルチステークホルダープロセスを創出する。(広島県において開催予定)

また、地域 ESD 拠点の登録支援や取組事例の水平展開を通して、中国地方及び全国の ESD 推進ネットワークの拡充を図る。

④ 人材育成

SDGs 未来都市の広島県と連携した SDGs ビジネスセレクトブック制作プロジェクトを通して、大学生や企業等を対象としたワークショップを開催し、第 5 次環境基本計画に示されている環境・BoP ビジネス等のグリーン経済を推進するとともに、SDGs 達成に向けた大学生・企業・行政等の人材育成や協働促進、SDGs 取組の可視化や自立化を図る。

4 管理業務

中国四国地方環境事務所や他地方環境パートナーシップオフィスと連携して、EPO ちゅうごく／中国地方 ESD センターの適切な管理運営に務める。

【運営体制】

